

キュウリの話・植え付け【4年生】

桐朋学園小学校・生活科

4年生のみなさんは昨年度、1学期に畑の「土作り」を行い、その後、エダマメを植え、1学期の終わりには、『やきエダマメ』を作り、おいしくいただくことで、しゅうかくのよろこびを分かち合い、そして、自然の恵みへの感しゃの気持ちをみんなでもつことができましたね。

さて、4年生ではキュウリを植えて、育てていきます。キュウリも昨年度のエダマメ同様、植えた後はしっかりとお世話をし、また観察なども行うことで、生活科・理科の学習につなげていきます。

しかし、今年度は3月から始まった休校期間が現在も続いており、学校での学習ができていません。しかし、植物・作物には、植える・育てるための「時季（じき）」というものがあり、みなさんが学校に来られるようになった後、すぐに学習ができるよう、少しずつ動き始めています。

そこで、休校中に生活科で行ったことを、『生活科だより』というおたよりの形で、かんたんにしょうかいしていきたいと思います。ぜひ、みなさんに読んでもらい、少しでも学んでもらえると嬉しいです。

1. 「キュウリ」とは…?

○ ウリ科キュウリ属

キュウリの原産地はヒマラヤといわれ、日本へは中国から伝わりました。江戸時代までは「黄瓜（きうり）」とよばれていたそうですが、その後、中国名の「胡瓜（きゅうり）」という漢字をそのまま当て字にしたようです。

今から50年ほど前までは、半白キュウリが多く出回っていたそうですが、その後、さいばいがしやすく、また、いどりがよくて、見た目もみずみずしいこい緑のキュウリに切りかえが進んだそうです。

※ウリの仲間 … カボチャ、ヒョウタン、メロン、トウガン、ニガウリ、ゴーヤ など

○ ほとんどが水分

ギネスブックには、何とキュウリが「世界一栄養がない果実」として、堂々1位に挙げられているんです。ちなみに、その逆で、最も栄養が多いのは……、「アボカド」だそうです。

キュウリには、「カロチン」や「カリウム」などの栄養素（えいようそ）も含まれていますが、なんと96.2%が「水分」なのです。ほとんど水でできているといってもいいでしょう。

○ キュウリの効果・はたらき

- むくみに効果あり … キュウリは、利尿効果（りにようこうか）の高い成分をふくんでいて、はだのむくみをとる効果があるそうです。
- 身体を冷やすはたらき … キュウリには、身体を冷やすはたらきがあるといわれ、「薬膳料理（やくぜんりょうり）」でもよく用いられます。暑い夏が「旬（しゅん）」だけに、熱くほてった身体を冷ますのに、キュウリが活やくします。

○ キュウリのさいばい時季

下の表のように、いつ種まきをするかによって変わります。桐朋では、「春まき」の時季で行っています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
春まき				■	-	-	■	■	■	■		
夏まき						■	-	-	■	■		
秋まき								■	-	-	■	■

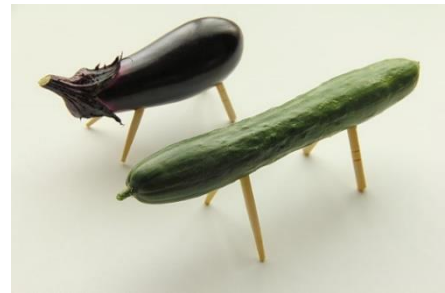
種まき ■ 植え付け ■ 収穫 ■

《まめ知識》 「精霊馬 (しょうりょうま)」

精霊馬とは、お盆にかざられるもので、ご先祖さまをおむかえしたり、お送りしたりする乗り物のことです。

また、夏のしゅうかくのほうこくもかねて、おもに夏野菜である「キュウリ」と「ナス」で作られるようになったそうです。

- ・キュウリ … 馬に見立てて作る
- ・ナス … 牛に見立てて作る



2. 「^{うね}畝作り」をしました

「土作り」に続いて、4月23日(木)に畝作りをしました。「畝」とは、畑で作物を作るために、細長く直線状に土を盛り上げたところのことです。

作物によっては、連作(続けて同じ場所で同じものを作ること)をするとよく実らないものがあり、キュウリもその一つであるので、桐朋の畑でも2年続けて同じ畝のレイアウトにはしません。

さて、みなさんは去年の「キュウリ」「エダマメ」「ヒマワリ」を育てた場所をおぼえているかな？

今年度は下の写真のようにレイアウトをしてみました。どの作物もたくさん実ってくれるといいですね。



《4年生・キュウリ》



《3年生・エダマメ》



《2年生・ヒマワリ》

3. 「キュウリの植え付け」をしました

4月25日(土)、キュウリの植え付けを行いました。本来だったら、4年生のみなさんと楽しく植え付けをしたかったのですが、今年度は残念ながらそうはできなかったもので、4年生・生活科の教員で行いました。

植え付けの様子をとった写真とかんたんな説明をそえるので、イメージを持ってもらえたら、と思います。

【キュウリの種】

手のひらに置いて、種の写真を撮りました。小さな小さな種なんですね。あれっ、キュウリの種って、キュウリを切ったときや、食べたときなどに、どこかで見覚えがありませんか？



【キュウリの苗】

毎年、桐朋では国立市内にある「JAみどり」さんからキュウリの苗をいただいています。今年もりっぱな苗を用意してくださいました。

ちなみに、キュウリにもいろいろな種類がありますが、桐朋で毎年育てているのは、『夏すすみ』という品種で、20cmくらいの長さに育ち、こい緑でツヤがあり、歯切れがよく、とてもおいしいキュウリです。

また、キュウリの大てきである「べと病・うどんこ病」などの病気にも強く、長期間にわたって実をつけてくれる、とてもすぐれた品種なのです。

① 畝にマルチングをする

キュウリを植える畝に、黒いビニールでできた「マルチフィルム」をかけ、ペグで止めた後、すき間がないように土でおおっていきます。この作業を『マルチング』といいます。

では、何のために、わざわざ『マルチング』を行うのでしょうか。

答えは、ざっ草が畝に生えるのを防ぐためや、地温の上昇させるはたらき、また、雨による土のはね返しをおさえたり、かい虫からのひがいを防ぐ効果もあるといわれています。



② 苗のポットを畝に均等に置く

キュウリを畝で育てる場合、「苗と苗の間かくを50cmくらいあけて植えるのがよい」と言われています。

毎年、4年生のみんなには、畝にならんでもらい、苗を一気に置くことで、あっという間に均等に置けるのですが、今年は少人数での作業だったので、これが意外に難しく時間がかかりました。みんなで作ることのありがたさを実感しました。



③ 苗を一つずつ畝に植えていく

いよいよ植え付けです。植え付けは、下のような流れで行っていきます。

- (1) シャベルで、マルチに「X」を書くような形で切れこみを入れ、畝の土を少しほりだす
- (2) 苗のくきを人さし指と中指でそっとはさんだら、さかさまにして、そっとポットから土と苗を取り出す
- (3) 土と苗を、(1)で作った畝ポケットの一つずつやさしく入れて、軽く土をかぶせる



③ 一苗に1本ずつ支柱を立てる

苗を植えたら、苗のそばに1本ずつ支柱を立てていきます。では、支柱を立てるのはなぜでしょうか。

- ・支柱にツルをはわせることで、つるや葉の間かくが てき度にとれ、病かい虫の予防になる
- ・キュウリは「つる性植物」で、つるを長くのばし、その中に実をつける。支柱を立てることで、つるのがよくのび、支えられることで、倒れるのを防ぐ。
- ・葉やつる、苗どうしの間かくがとれることで、日当たりや風通しがよくなり、ムシを防ぐ。



③ 「キュウリの植え付け」終了！

支柱を立てた後、苗と支柱を「ビニタイ」でやさしく結びつけ、「キュウリの植え付け」作業が終了しました。これで、学校が始まった後、4年生がすぐにキュウリのお世話・観察などを始められるようになりました。今年も、おいしいキュウリがたくさん実ってくれるといいですね。みなさんも楽しみにしてくださいね。

